

第4章

環境保全に向けての参加の促進

第4章 環境保全に向けての参加の促進

第1節 環境保全思想の普及・啓発

1 環境教育

【義務教育課・高校教育課】

(1) 環境教育のねらい

学校においては、環境教育を、生涯学習の基礎を培う機会として位置づけ、児童生徒の環境問題への関心を高めるとともに、人間と環境のかかわり方や環境に対する人間の責任・役割について理解させ、環境の保全やよりよい環境の創造に向けて主体的に行動できる能力や態度を育成することが大切です。

そのためには、以下のことが求められます。

- ① 教育課程への適切な位置づけと、年間指導計画に基づいた指導
- ② 全教職員の共通理解の促進と推進体制の確立
- ③ 地域の人材や自然、素材（ひと・もの・こと）等を生かした学習活動の工夫

(2) 「環境教育講座」の実施

教育センターの研修講座で、小・中・高・特別支援学校の教員を対象に、講義や実習等をとおして、環境教育について認識を深めるとともに、指導力の向上を図る目的で実施しました。

○平成20年度「環境教育講座」－地球温暖化問題、酸性雨問題を実感させ、行動を起こさせるには－

ア：目的…身近な問題である地球温暖化問題と酸性雨問題のメカニズムを学び、地球規模から身近な島根県の現状の説明を受け、児童生徒がこの問題を実感して主体的行動を起こすようにするにはどうすればよいかを学び、考える。

イ：期間…2日間

ウ：会場…出雲科学館

エ：受講人数…41名（小：19名、中：8名、高：7名、特：2名、鳥取県5名）

オ：研修内容

○講義・協議 地球温暖化のメカニズムと現状及び問題点について

○講義 島根県における温暖化問題の現状について

○講義・実験 家庭でできる地球温暖化対策と温暖化に関する実験

○講義 酸性雨のメカニズムと現状及び問題点について

○講義・実習 酸性雨問題に関する授業への提案

カ：講師…東京農工大学農学部

教授 原 宏

島根県環境政策課環境企画グループ グループリーダー

梅 伸夫

島根県教育庁義務教育課

小中学校指導グループ

指導主事 古藤浩夫

(3) 「学校版エコライフチャレンジしまね」の推進

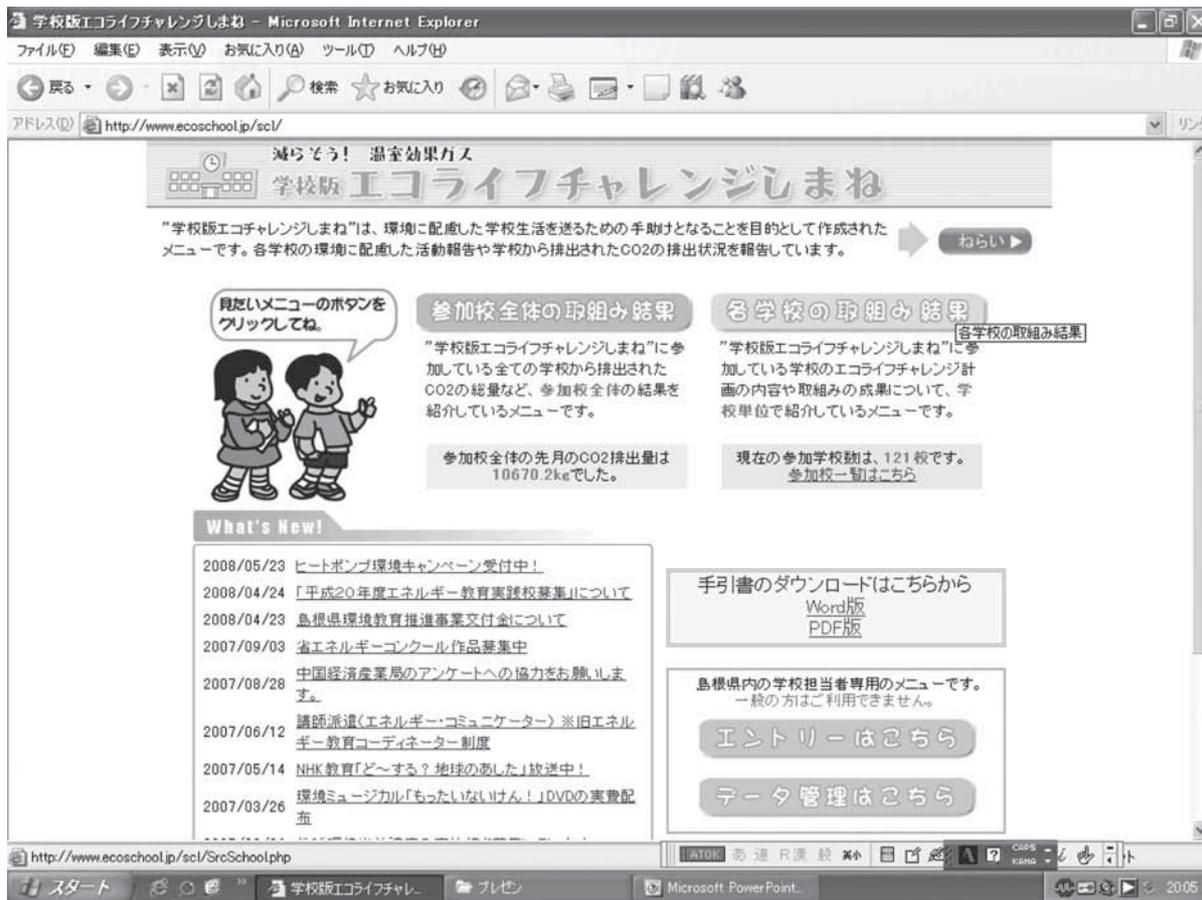
- ・環境に負荷の少ない学校運営を目指して、平成18年度から県内全ての公立・私立・附属学校を対象にして開始しました。
- ・各学校での消費エネルギーを入力すると、自動的にグラフ化して表示したり、二酸化炭素の削減量を表示したりできます。また、各学校の取り組み計画や、活動レポートを掲載し、県民に広く公開することで、情報の発信や共有化も可能です。
- ・平成22年度での100%登録を目指しています。平成21年3月31日現在、180校の登録(県

第4章 環境保全に向けての参加の促進

内の全ての小・中・高等学校・特別支援学校の約44%（分校、定時制、通信制も1校として含む）。平成20年度の目標は70%。）がありました。

・「学校版エコライフチャレンジしまね」のURLアドレス及びトップページアドレス
<http://www.ecoschool.jp/scl/>

トップページ



(4) 補助事業

「学校版エコライフチャレンジしまね」の登録促進と、環境学習の充実を目的に、産業廃棄物減量税の一部を活用し、小・中学校は「環境教育推進事業」、県立学校は「環境保全活動推進事業」を実施しました。

○環境教育推進事業

学校版エコライフチャレンジしまね登録数に対し、1校3万円を上限に、希望する市町村に対して行いました。平成20年度は、15市町の75校に交付しました。交付対象校は、その成果等を「学校版エコライフチャレンジしまね」の各校のHP上でレポートしました。

○環境保全活動推進事業

希望する高等学校、特別支援学校に対し、一般的な環境教育活動では1校10万円、3R活動推進では1校20万円を上限に行いました。平成20年度は、計16校に交付しました。

(5) 環境教育の実践例

- ① 小・中学校の取組ー平成20年度全国環境学習フェア資料に掲載した実践校ー
 - 隠岐の島町立布施小学校
 - ・緑の少年団活動
 - みんなの森清掃、空き缶アワビ殻回収

- ・大満寺山教育キャンプ
エコキャンプ

上記の活動を中心として、小中一貫で環境問題に取り組んでいる。

○邑南町立石見中学校

- ・理科、技術・家庭、総合的な学習の時間を中心とした環境学習
森林、バイオディーゼル、食物、ゴミ、電気、資源 等
- ・生徒会環境部が中心となった美化活動や節電活動
ゴミ拾い、ゴミの分別、リサイクル 等
- ・家庭や地域への啓発活動
- ・地域資源の教材化

② 高等学校の取り組み

○松江農林高等学校

- ・環境土木科の課題研究において、専門教科の学習で習得した土木や造園の技術を活用して、校内の環境整備を行っています。その中で、学校周辺の山林に放置されている間伐材を活用した取り組みを行っています。森林組合の協力を得て、材料の切り出し・運搬から行い、木柵による排水路の整備や学校前のバス停の待合所の作製などに利用しています。
- ・本年度も引き続き、排水路の整備と広場に四阿（あずまや）の建設を計画し、施工中です。特に排水路についてはピオトープとしての整備をあわせて検討中です。

【各種受賞校等】

- みんなで調べる宍道湖流入河川水質調査
 - ・環境大臣賞
斐川町立荘原小学校
 - ・島根県知事賞
奥出雲町立馬木小学校
 - ・国土交通省中国地方整備局長賞
出雲市立灘分小学校
 - ・宍道湖水質汚濁防止対策協議会会長賞
出雲市立平田小学校、斐川町立出東

小学校、松江市立大谷小学校、雲南市立西日登小学校、斐川町立斐川西中学校

○みんなで調べる中海流入河川水質調査

- ・島根県知事賞
安来市立南小学校
- ・島根県教育長賞
安来市立第一中学校
- ・奨励賞
安来市立島田小学校、安来市立能義小学校、安来市立比田小学校

○コカ・コーラ環境教育賞

- ・主催者賞
出雲市立田儀小学校、出雲市立佐田小学校、飯南町立赤名小学校、大田市立温泉津小学校、益田市立真砂中学校

○環境美化教育優良校表彰

- ・散乱防止部門
浜田市立雲雀丘小学校
- ・リサイクル部門（応募なし）

○緑の少年団発表大会

- ・最優秀賞
浜田市立波佐小学校
- ・優秀賞
出雲市立第三中学校

○愛鳥モデル校

安来市立南小学校、奥出雲町立高尾小学校、斐川町立出東小学校、益田市立桂平小学校、益田市立西益田小学校

○全国花いっぱいコンクール

- ・環境大臣賞
斐川町立斐川西中学校

2 こどもエコクラブ事業
【環境政策課】

こどもエコクラブ事業は、次世代を担う子供たちが、地域の中で仲間と一緒に主体的に地域環境、地球環境に関する学習や具体的な環境保全活動を展開できるように支援することを目的として、環境省の委託を受けた財団法人環境協会の実施しています。

第4章 環境保全に向けての参加の促進

平成20年度は、県内で48のこどもエコクラブが結成され、川の水質調査、生物調査など様々な活動を行いました。県は活動推進のため、各クラブ間の交流会を11月及び12月に開催しました。

表4-1-1 こどもエコクラブの登録状況

	登録クラブ	メンバー/ サポーター (人)
平成7年度	37	84/ー
平成8年度	56	811/ー
平成9年度	44	621/ー
平成10年度	54	735/106
平成11年度	54	609/145
平成12年度	41	643/147
平成13年度	36	745/151
平成14年度	38	1,165/211
平成15年度	56	1,168/198
平成16年度	46	1,029/250
平成17年度	38	691/202
平成18年度	34	809/208
平成19年度	60	4,406/583
平成20年度	48	1,996/439
累 計	552	15,512/2,640

第2節 各主体の環境保全活動の推進【環境政策課】

1 普及啓発事業

(1) 環境月間行事

平成6年度から環境月間を6月に改め、6月5日の環境の日を中心として、各種の事業を実施しています。

① 環境保全功労者の表彰

環境保全に関し、特に顕著な功績のあったものに対して知事感謝状を贈呈しました。

② 「クリーンしまね—環境美化行動の日」

実践活動を通じて環境美化意識や資源を大切にす意識の普及啓発を図るため、環境美化行動の日を設定し、広く一般参加を得て清掃活動、空き缶の分別収集とリサイクル等を行いました。

期日：6月1日(日)

提唱：島根県

内容：市町村、各種団体等により公園、緑地、河川等の清掃や空き缶の分別収集

(2) 環境保全普及啓発の広報

今日の多様化した環境問題を解決していくためには、県民、事業者及び各種団体等の自主的かつ積極的な活動が不可欠となっています。

そこで、全ての県民が環境に配慮した行動がとれるように、県の環境施策や各種月間等の環境情報について、最も効果的な伝達媒体であるマスメディアを活用し広報・啓発を図っています。

- ・新聞広報 24件
 - …環境月間、地球温暖化防止月間、ノーマイカーデー等
- ・テレビスポットCM
 - …地球温暖化防止月間、省エネルギー月間

2 研修会の開催

市町村及び保健所等の、環境行政を担当する職員を対象に、環境行政の現状及び実務の知見や理解度を深めることを目的として、「市町村及び保健所環境・廃棄物担当者研修」を実施しています。

平成19年度は、光化学オキシダントや環境に関する事務等の市町村への権限移譲に関する研修を実施しました。

3 環境白書の発行

本県の環境の状況や環境の保全に関する施策の実施状況等を取りまとめ、「環境白書」として作成し、各市町村、公立図書館、中学校・高等学校や関係機関等へ配布するとともに県のホームページに掲載し、県民や事業者への公表に努めました。

4 環境マネジメントシステムの普及・啓発

「企業が環境に関する方針や目標等を自ら設定し、これらの達成に向けて自主的に取り組むこと」といった内容を指す「環境管理」について、国際的な統一規格としてISO14000シリーズ環境管理システムに関する一部が平成8年9月に規格化されました。

環境マネジメントシステムは、簡易版も含めて今日の環境問題解決への有効な手法であるので、事業者の認証取得への情報提供を図っています。

第3節 参加と連携による地域環境づくりの促進

[財しまね自然と環境財団実施事業]

平成20年度主要事業実績（環境保全活動支援事業分）

1 こども環境学習支援事業

(1) しまね環境学習推進事業（もったいない生活日記）の実施

県内小学生を対象に8月に「もったいない生活日記」を募集し、夏休み期間中親子で地球温暖化防止の取り組みをしてもらいました。

参加者：909人

優秀な取り組みに記念品授与。

(2) 島根オリジナル環境学習展開事業

世界遺産に登録された「石見銀山」を環境学習教材として活用する学習プログラムを開発しました。初年度として、地域の学校と連携した検討会等を開催し、学習プログラムのガイドラインを作成するとともに教材の試作を行いました。

検討会開催：4回（12月～3月）

学習教材の試作：3種

2 環境保全活動支援事業

(1) 環境情報収集・整理・提供

① 図書類を収集・整理し県民に分かりやすく提供しました。また、ホームページで各種情報案内や各事業に関連するサイトで情報を提供しました。

② 機関誌の発行

財団の情報誌「さんべ発」などを利用して情報提供を行いました。

配付部数：（固定）約3千部×4回。

(2) ネットワークの形成

県西部に新たに拠点を設け、各地域のネットワークづくりを推進しました。

(3) 環境保全活動助成事業

① ふれあい環境助成金の交付

県内のボランティア団体や法人が行う環境保全活動に助成しました。

助成件数 51件

助成額 10,680千円

② 講師・指導員派遣事業

環境アドバイザーとして15名を委嘱し県民や事業者が実施する研修会等に派遣しました。

平成20年度派遣件数 23件

3 地球温暖化対策事業（島根県地球温暖化防止活動推進センター事業）

(1) 島根県地球温暖化対策協議会の運営

平成17年に設立した島根県地球温暖化対策協議会の事業として5月に幹事会、6月に推進会議、12月に推進大会を実施しました。また、部会（家庭、事業者、行政）を実施。さらに協議会のホームページを更新し情報提供を行いました。

(2) 温暖化防止県民運動の展開

平成17年度から新たに県の「地球温暖化対策推進計画」が実施されたことに伴い、県民の取り組みとして、地球温暖化防止活動推進員及び市町村との連携により、新システムによる環境家計簿（エコライフチャレンジしまね）の推進を図りました。（H20年度末延べ参加者数：4,346件）

また、地球温暖化防止への取り組みを推進するため、県内一円でエコドライブ推進キャンペーンや省エネ製品普及キャンペーン、マイバッグキャンペーンなどを実施しました。

(3) 省エネ・3Rの県民行動促進（しまねCO₂ダイエット作戦）事業

省エネ製品への買い換えやレジ袋を断る等のCO₂削減につながる消費行動に対して、事業者サイドがエコポイント等経済的インセン

ティブ（サービス）を付与する社会の仕組みづくりを促進し、県民の自主的な取り組みを誘発しました。

協賛店舗数：793店

(4) 環境フェアの開催

国の補助を受けて「しまねエコフェスタ in さんべ」を開催しました。

県民一人ひとりが理解し行動することが必要であるため、「県民誰もで地球温暖化防止と循環型社会をめざそう！」をテーマにより多くの方に楽しみながら実践できる普及・啓発の機会として開催しました。

- ・日 時 平成20年10月25日～26日
- ・場 所 大田市（島根県立三瓶自然館及び北の原キャンプ場周辺）
- ・参加者 約5,000人
- ・概 要 環境関係の23団体や企業16社の出展。子供から大人まで楽しく学べる内容とし、体験を主体とした内容で実施しました。グリーン電力やリユース食器を使用し2,354kgのCO₂を削減しました。

(5) 地球温暖化防止活動推進員研修の開催

国からの委託を受けて、県が委嘱した島根県地球温暖化防止活動推進員に対し、企画研修・事例研修等を松江市ほかで実施しました。また、平成20年12月に県が新たに133名を委嘱したことに伴い、基礎研修等を県内各地（松江市、出雲市、浜田市、益田市）で実施し推進員の資質向上と平準化を図りました。

(6) 一村一品知恵の環事業

地域で活動している地球温暖化防止の活動を掘り起こし、優秀な取組を紹介していくことにより地球温暖化防止のムーブメントを起こしていくことを目的に、平成19年度から環境省の委託を受けて実施。県内から応募のあった7件よりグランプリ「『古の技術』は最先端技術（大田）」等を選定しました。グ

ランプリ団体は県代表として全国大会に出場し、審査員特別賞「エコ建築賞」を受けました。

4 住宅用太陽光発電支援事業

国の委託を受けて太陽光発電普及拡大センター（J-PEC）が行う「住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金事業」の島根県窓口として専任スタッフの配置等体制を整え、申請書・相談等の受付窓口業務を行いました。

申請件数：173件